



ニセコ町 議会だより

Niseko Town Council News

主なトピックス

- ニセコ高校臨時寄宿舍
整備工事に2億792万円 P3
- 町政への一般質問 P6-14
- 視察研修へ行ってきました P16

2024.9
No.198



ニセコ高校学校祭にて

条例の改正や補正予算など30案件のすべてを可決、承認

【第3回臨時会・第4回定例会】

第3回臨時会が5月1日に、第4回定例会が、6月19日から27日までの9日間の会期で開催されました。

臨時会では、企業版ふるさと納税基金条例の制定や町税条例の改正、請負契約の締結、補正予算について審議し、定例会では、報告や専決処分の承認、地下水保全条例の改正、補正予算の審議が行われ、すべて可決（承認）しています。27日には、6名の議員から一般質問が行われました。



▶資源には限りがあります。大切に使いましょう。



PickUP

地下水保全 条例の改正 (水資源を守る)

ニセコ町環境基本条例に規定する環境理念に基づき、地下水の枯渇・地盤沈下を防止するため、水の採取に必要な規制を行い、町民生活にかけがえない資源である地下水を将来にわたって保全し、健康で文化的な生活に寄与することを目的として、平成23年から運用しています。

近年は、揚水ポンプの性能も上がり、掘削した井戸の利用について、これまでのように井戸の吐き出し口の大きさを制限しても、多量の地下水の利用が可能なことから、条例改正により、1日当たりの水量の制限（10トン）を設けるものです。

PickUP

企業版 ふるさと納税 基金条例

企業版ふるさと納税制度は、平成28年から始まり、ニセコ町では、令和2年度に導入し寄付の受け入れを始めています。

この制度は町が定める地域再生計画に搭載した事業に対して寄付をいただくもので、寄付をお受けした年度内に活用しなければならぬ仕組みとなっています。

今回基金条例を施行し、基金に積み立てることにより、同一事業については、複数年に亘って活用することができ、これまで以上に効果的に寄付金を活用することができます。

6月19日現在、累計9千万円を超える寄付を頂いています。

ニセコ町情報公開条例の運用状況 (令和5年度)

- 公開請求件数 3件 ・ 部分公開 3件
- 不服申立ての状況 なし
- 審査会の開催状況 令和6年3月27日開催

- 【ニセコ町企業版ふるさと納税寄附対象】
- ①『共感』がたぐく多様な連携による持続可能なまちづくり推進事業
 - ②持続可能な「ニセコ共生循環の森林づくり」を実現する地域商社推進事業
 - ③持続可能な観光地域づくり

第3回臨時会 審議一覧
(5月1日)

件 名	結 果
専決処分した事件の承認について (和解及び損害賠償の額の決定)	報告受理
専決処分した事件の承認について (令和6年度一般会計補正予算)	承 認
ニセコ町まちづくり基本条例改正検討 委員会設置条例	原案可決 【全会一致】
ニセコ町企業版ふるさと納税基金条例	原案可決 【全会一致】
職員の給与に関する条例等の一部を 改正する条例	原案可決 【全会一致】
ニセコ町会計年度任用職員の給与及び 費用弁償に関する条例の一部を改正 する条例	原案可決 【全会一致】
町税条例の一部を改正する条例	原案可決 【全会一致】
ニセコ町こども医療費の助成に関する 条例の一部を改正する条例	原案可決 【全会一致】
請負契約の締結について ・公営住宅建設工事 ・公営住宅長寿命化型複合改善工事	原案可決 【全会一致】
令和6年度ニセコ町一般会計補正予算	原案可決 【全会一致】

第4回定例会 審議一覧
(6月19日～27日)

件 名	結 果
株式会社キラットニセコ、株式会社ニ セコリゾート観光協会、株式会社雪森 考舎経営状況の報告	報告受理
ニセコ町情報公開条例運用状況の報告	報告受理
令和4年度ニセコ町繰越明許費繰越計 算書の報告	報告受理
専決処分した事件の承認について (各会計補正予算5件)	承 認
請負契約の締結について(定住促進住 宅整備事業(設計・施工一括発注))	原案可決 【全会一致】
ニセコ町まちづくり基本条例改正検討 委員会設置条例の一部を改正する条例	原案可決 【全会一致】
ニセコ町地下水保全条例の一部を改正 する条例	原案可決 【全会一致】
ニセコ町民センターの設置及び管理に 関する条例の一部を改正する条例	原案可決 【全会一致】
辺地に係る公共的施設の総合整備計 画書の一部変更について	原案可決 【全会一致】
令和6年度各会計補正予算(一般)	原案可決 【賛成多数】
令和6年度各会計補正予算(水道事業)	原案可決 【全会一致】

請負契約の締結

公営住宅(中央団地5号棟)長寿命
化型複合改善工事

- ・ 契約の方法 指名競争入札
- ・ 契約金額 1億1737万円
- ・ 契約者 株式会社石塚建設
- ・ 工事概要 屋根・外壁の性能向
上、断熱、給湯設備、
ユニットバス

公営住宅(新団地2号棟)建設工事

※建築主体工事

- ・ 契約の方法 指名競争入札
- ・ 契約金額 2億7720万円
- ・ 契約者 株式会社浦野工務店
- ・ 工事概要 木造2階建て
1棟9戸

定住促進住宅整備事業

※設計、施工一括契約

- ・ 契約の方法 プロポーザル選定
- ・ 契約金額 1億7851万
2000円
- ・ 契約者 株式会社石塚建設
- ・ 工事概要 木造2階建て
1棟8戸

PickUP

まちづくり
基本条例改正
検討委員会
設置条例



▲昨年改善工事が完了した中央団地6号棟
(右)と現在工事中の5号棟(左)

まちづくりにおける情報共有と住民参加を規定し、ニセコ町のまちづくりの憲法と称しているまちづくり基本条例は、4年を超えない期間ごとに、この条例がニセコ町にふさわしいものであり続けているかどうか等を検討することになっています。今回制定した条例により、改正の有無を含めて町へ答申する役割を担うものです。

ニセコ高校臨時寄宿舍整備

地域脱炭素移行・再エネ推進事業

宿泊税導入対応支援交付金などを可決

【第3回臨時会、第4回定例会】

第3回臨時会では専決処分を含む4
656万6千円を増額、第4回定例会
では、専決処分3件を含む3億587
2万1千円を増額する令和6年度（2
024年）一般会計補正予算を審議し、
可決しました。

ここでは、補正計上された事業の一
部をお知らせします。



クーラーがついて、昨年からは学ぶ環境が改善
されました（ニセコ小学校）

会計区分	当初予算額	現計予算額	補正後予算額
一 般	66億9,000万円	67億4,477万9千円	71億5,006万6千円
国民健康保険事業	2億1,300万円	同左	同左
後期高齢者医療	6,960万円	同左	同左
全 会 計 の 合 計	69億7,260万円	70億2,737万9円	74億3,266万6千円

その補正予算に質問！

【ニセコ高校寄宿舍の整備】

前原議員 2億円を超える建設費が計上されているが、なぜ当初予算でなく補正予算での提案なのか。

総合教育課参事 希望ヶ丘寮は、今年の新1年生22名が入寮し、現在、定員オーバーとなっている。今年と同様の人数が来年度に入寮することが予想され、早急に寮の確保が必要と判断し、現在の希望ヶ丘寮隣接地に臨時寮として建設する。

篠原議員 入学者の募集、締め切りの段階で検討すべき事業では。また、建物の耐用年数はどの程度か。

教育長 議員のご指摘とおりで、令和8年度に供用開始の新寮の建設計画もあり、場所の選定等で当初予算へ計上することができなかった。

総合教育課参事 ムービングハウスという木造の住宅で、25年〜30年程度と考えている。
※ムービングハウスは、工場で製造する一般住宅。国際規格の海上輸送コンテナと同じサイズで、広さは約30㎡。災害時の仮設住宅として利用されている。

柿原議員 今回補正の臨時寮



に2億円。来年度建設する新寮は10億円必要と聞いている。教育長は予算（お金）を、どのように考えているのか。

教育長 限られた予算なので、教育行政だからと言って無尽蔵に使えるものではない。高校生が活躍することにより、まちの活性化につながるという思いで町長部局と協議を重ね、大きな予算を投じる判断をした。

※ニセコ高校寄宿舍の建設事業
希望ヶ丘寮（平成2年建設）

定員…36人

令和6年度に建設する臨時寮

場所…希望ヶ丘寮隣接地

定員…16人

・新寮完成後は教員住宅とする

令和7年度に建設を予定している新寮

場所…町民グラウンド

定員…70人程度

補正予算の審議

【一般会計歳入】

国庫支出金

高等学校デジタル人材育成支援事業補助金、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金

1千550万円

道支出金

農地利用効率化等支援事業補助金

737万円

寄付金

171万2千円

繰入金

公共施設整備等基金繰入金、ふるさとづくり基金繰入金

2億4436万5千円

繰越金

4775万8千円

備考資金支消金

2762万円

※備考資金とは災害が発生したとき、その応急復旧事業等に充てられた積立金（普通納付金）。今回は任意で積み立てしている超過納付金の一部を取崩す。

【一般会計歳出】

ニセコ高校臨時寄宿舎整備工事

2億792万2千円

全国から新入生を募集するにあたり、現在の希望ヶ丘寮に空きがないため、寮を建設。

地域脱炭素移行・再エネ推進事業

550万円

環境省の交付金（重点対策加速化）事業に採択。今後太陽光発電の導入や高性能住宅への補助事業制度を創設。

宿泊税導入対応支援交付金

2762万円

宿泊税を導入するにあたり、宿泊客への説明やシステム改修費用など宿泊事業者（特別徴収義務者）への交付金。施設の部屋数に応じて交付。

【その他事業】

○農地利用効率化等支援事業補助

737万円

○農産物販売促進対策事業補助

594万円

○有害鳥獣駆除対策事業補助

598万6千円

○国際交流施設エアコン設置工事（インターナショナルスクール）

959万1千円

○ニセコ医院エアコン設置補助金

200万円

○ニセコ高校営繕工事（エアコン設置など）

1635万8千円

○ニセコ鉄道文化協会補助金（転車台整備）

352万円

○体育施設用備品（幼児向け貸出用スキー、ブーツ、ヘルメット）

80万円

その補正予算に質問！

【6次産業への取組み（農産物販売促進）】

高瀬議員 ニセコ町産野菜の消費を拡大するための事業と聞いているが、協力店舗数と売り上げの見込みはどの程度か。

農政課参事 ニセコ町自慢の農産物と誇れる景観をマッチングし、観光客等に向けたファーストフードを販売する新たな6次産業への取組み。野菜を活用したサンドイッチなどを町内の景勝地で食べていただく。協力店は最大8店舗を予定し、売り上げは一日1店舗最大15食、月の販売3600食程度を補助するところからスタートする。協力していただける店舗数が多い場合は、予算の範囲内で増やしていきたい。

【町民センターの改修】

小松議員 町民センター（2階和室）の改修内容と完成することにより何人くらいの会議が可能か。

町民生活課長 利用する方が多くはテーブルを使うことが多いため、利用の少ない2階の和室を洋間（フロアリング化）にする改修工事を行う。テーブル、椅子を設置し20人〜30人程度が利用できる見込みだ。

【健康まちづくりフォーラムの概要】

高木議員 フォーラムの内容は。

企画環境課長 生涯健康社会推進機構が主催する「健康まちづくりフォーラムin羊蹄」が10月1日にニセコ町で開催される。まちづくりなど、自治体の抱える地域課題を民間企業の多種多様な技術等との連携により、課題解決の方策を構想するもの。負担金の財源として、北海道からの補助金と羊蹄山麓町村からの支援を検討している。



【食品ロス啓発事業】

斉藤議員 全額北海道の補助金により啓発事業を行う説明があつたが、事業の内容は自治体に任されているのか。
 商工観光課長 消費者行政の一環として食品ロス削減に向けた料理教室、啓発活動など取り組んできた。

今回は食品ロス削減の啓発用品として、消費者や町内飲食店配布用のドギーバック（お持ち帰りバック）の製作費を補正している。北海道が決めている事業内容ではなく、ニセコ町が取り組むべき事業として提案しているものだ。配布方法や事業展開などは、協力いただける飲食店の皆さんと検討を進めたいと考えている。



イメージ

日本の食品ロス量は年間523万トン。毎日大型トラック約1433台分の食品を廃棄しています。

（政府広報オンラインより）

【ニセコ高校寄宿舎の設計】

高木直良 寄宿舎の建設がタイトなスケジュールとなつている。場合によっては将来別の用途に利用することも検討していると聞いているが。

総合教育課参事 基本設計と実施設計を年内に終わらせ、その後に建築工事に着手する予定。基本計画の段階では生徒の利用が少ない場合、外部の人が宿泊できる施設にも活用できるような複合的な施設を検討することになっている。高木直良 繰り返しになるが、非常に厳しい時間設定の中で対応があるので、設計変更等での対応が生じないよう設計すべき。

総合教育課参事 これまで関係者から多くのご意見を伺い基本計画が作成されていると判断しているので、計画に基づいて設計を進めていく。また、今後も町民講座など、町民の方の意見を聞く機会を設けながら進めていきたい。

陳情・発議の審議結果

第4回定例会で陳情1件と発議1件を議決し、意見書は地方自治法第99条の規定に基づき、関係大臣、関係機関に送付しました。

ニセコ町立小中学校の給食の無償化を求める陳情

令和6年3月6日に総務常任委員会に付託された陳情第1号は、3回の委員会を開催して審議を重ね、採択すべきとする委員会報告のとおり議決しました。

提出者／学校給食の無償化を求める保護者有志の会
 事務局 中江 綾

結果／採択
 子育て世代への経済的な負担軽減を求める声が高まっていることを踏まえ、学校給食を無償化した自治体が近年増えていきます。給食は義務教育の一環であり本来は国の責任で進めるべきですが、国の方策が講じられるまで先行して支援を実施すべきです。

昨年12月の大野幹哉議員による給食費無償化についての一般質問では、教育長及び町長は「本町では、これまで学校給食費の保護者負担軽減として、平成23年度から給食費単価の据置きと平成27年度から第3子以降の学校給食費の免除を毎年継続して実施しています。

学校給食費の無償化については、全国で実施する自治体が増えてきており、本町としても保護者負担の観点から無償化の実施について検討していきたいと考えています。無償化については、長期的な町の財源確保の課題などがありますので、今後持続可能な支援ができるかについて将来的な財政負担の見通しを立て、無償化の実施が可能な段階的なことも含め進めていきたいと考えています。」と返答しています。

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

産業建設常任委員会へ付託された発議第1号は、可決すべきとする委員会報告のとおり議決しました。

提出者／ニセコ町議会議員 木下裕三
 結果／原案可決



ニセコ雪森考舎立ち上げの際、所管事務調査で森を見に行きました。

一 般 質 問

一般質問とは、議員が町長や教育長などに対し施策の内容や将来の方針等について質問するものです。令和6年（2024年）第4回二セコ町議会定例会（会期6月19日～27日）では、6名の議員から15件の一般質問が提出されました。ここでは要約したものを掲載します。
※要約文章・掲載写真は質問をしたそれぞれの議員が編集しています。

小松弘幸 議員

- ・ 広域連携による鳥獣被害対策について

p 07

斉藤うめ子 議員

- ・ 未来世代法（ミラセダ）をどのように考えるか
- ・ 二セコ高校寮生の週末の食事について
- ・ 学校のエアコン設置と「断熱」リノベーション計画の進捗状況を伺う
- ・ 綺羅街道植栽の抜本的改善を求める
- ・ 猫の多頭飼育崩壊について伺う

p 07-09

前原孝植 議員

- ・ 地域通貨について
- ・ 二セコ高校寄宿舍再整備について
- ・ 二セコミライ第一賃貸事業運営合同会社への土地売却について
- ・ 企業からの寄付について

p 10-11

木下裕三 議員

- ・ 二セコ町の広告収入などについて

p 12

大野幹哉 議員

- ・ 町道羊蹄連絡線、真狩旧道線通学路他の注意看板について

p 12

高木直良 議員

- ・ 観光客動向の変化への対応について
- ・ 二セコ高校改革について
- ・ 町民の住宅ニーズと二セコミライ事業について

p 13-14



小松 弘幸 議員

A 広域的な撲滅体制をとりたい

Q 広域連携で協議会立ち上げを

Q エゾシカやアライグマなど野生鳥獣による農作物への被害は増加傾向にある。現在は猟友会や関係機関とともに被害防止対策や捕獲を行い、農業被害の減少に取り組んでいる。被害防止対策を効果的に実施するため、各町村と広域連携による協議会を立ち上げ、被害防止計画を策定するべきでは。

A 町長 広域では以前より羊蹄山麓町村長会議などで協議を重ね、毎年有害鳥獣の状況や駆除への支援を農林水産省や北海道、JAUに要請してきた。後志総合振興局へは、管内有害鳥獣対策の事務局を持ち、広域での鳥獣駆除体制の構築を要望している。協議会の設立については、後志全体の広域的共通課題であるので、山麓町村会議としては後志総合振興局への働きかけを強化する。

Q 特にアライグマによる農業被害は拡大傾向にある。早期の対策が必要不可欠だ。
A 農政課長 アライグマは春先の出産前や子が生まれた後に捕獲することが非常に有効で、即効性があり、生産者や猟友会、役場で捕獲体制を進めている。



アライグマの繁殖率は非常に高い

Q 未来世代幸福法（ミラセダ）の検討を



斉藤 うめ子 議員

A まちづくり基本条例で反映

Q 2015年英国ウエールズで施行された「未来世代幸福法」は、国や公共機関が物事を決める際、未来世代の幸福につながる決定になっているか審査し、公表を義務付けている法律。世界各国で広まり導入する動きがあり、日本でも国会で議員立法する動きがある。今年9月には国連で「未来世代サミット」が開催される。ニセコ町のまちづくり政策には「未来世代法」を取り入れられてきたか。

A 町長 まちづくり基本条例の中で子どもの参加権を規定し、次世代未来について意見反映を行っている。

Q まちの未来を考える対話が町民の間でされてきたか。まちの発展は町民が望む方向に向かっていっていると言えるのか。外国資本による投資を目的にした発展に翻弄されるまちで良いのか。いつの時代も変わらない豊かさ、幸せとは何か、何を大切にすべきかを見直すために未来世代への議論をしてはどうか。

A 町長 共感資本社会、相互扶助社会、人間尊重社会へ取り組みを進めてきた。「健康長寿ウエルビーイング」を重要視している。長寿社会への対応、子どもの人権や尊厳を守り、持続させるか、将来像をさらに一歩進めて行きたい。

Q 近視眼的な未来ではなく、もっと先の未来を見据えた未来世代について町民全員を対象にした議論の場が必要ではないか。

A 町長 行政がやるのではなく、住民自治を進めて広げて行く方法もある。



未来世代のための Well-being 法
日本版プロジェクトのロゴ

Q 寮生の週末の食事は
齊藤 うめ子 議員

A アンケートを取り検討したい



ニセコ高等学校希望ヶ丘寮食堂

Q 今年度道外から11名の生徒が入寮し、寮生35人の内週末寮に残る生徒が約半数になっている。週の内3日間6食は各自が自分で食を賄う。寮の食堂は電子レンジとカセットコンロのみ使用可。成長期で食生活が大切な時期だが、子どもたちの食事のバランス・健康をどう考えるか。

A 教育長 週末寮にいる生徒の食事は検討課題である。1年生も日常生活に慣れ、土曜、日曜アルバイトをする生徒や友人宅で過ごす生徒など週末の過ごし方は多様化している。土・日一律に食事を提供することが生徒にとって良いのか検討していきたい。

Q 町民10人程で寮生の食事について話し合った。子どもの健康のために週末の食事は絶対必要との意見だった。「未来のニセコを拓く会」は月1回、みんなの居場所で食事を開いている。これまでに3回生徒たちを食事会に招待して来た。週末の寮生の食事には選択肢がいくつもある。

Q 寮生たちの週末の食生活の実態がどうか、基本は何かを考えた上でアンケートを実施すべき。

A 教育長 学校では生徒・保護者・ボランティアの話を聞いた上で、週末の食事について迅速に検討していきたい。

Q エアコン・断熱改修進捗状況は

齊藤 うめ子 議員

A 7月には工事完了予定

Q 学校のエアコン設置と断熱改修計画の進捗状況は。

A 教育長 暑さ対策は児童生徒の健康面の安全を確保する優先課題として取り組んでいる。エアコンについては幼児センターは整備完了、小中は7月上旬工事完了の見込み。高校の寮の食堂は工事を発注済み。

断熱改修は小中学校では改修完了、未改修の高校は外壁の劣化状況調査と大規模改修にむけた基本構想を策定する予定。

まずエアコンの暑さ対策を最優先的に取り組む。断熱は情報収集を継続し学習環境づくりを進めたい。

A 町長 本町では学校施設の耐震改修・大規模改修に合わせ一定の断熱改修を行ってきた。さらなる断熱改修は将来の課題として整理しておきたい。

Q 断熱が一番大事だが本当に大丈夫なのか。日本の断熱はドイツに遅れること40年と言われている。

高校のエアコン設置までの期間、簡易型の



木製サッシの内窓を取り付けることで断熱性能を高くすることもできる
(国際環境 NGO グリーンピース・ジャパン出典)

暑さ対策を考えているのか。断熱が確りしていなければ、エアコンを設置してもエネルギー削減の効果は発揮されない。普段から断熱対策を検討してはどうか。

A 教育長 暑さ対策を十分検討して取り組んでいきたい。



綺羅街道植栽の抜本的改善を

斉藤 うめ子 議員



基本条例の精神を活かしたい



Q 「綺羅街道」は2001年（平成13年）に完成し、観光ニセコの玄関口としてニセコ駅前綺羅乃湯から本通商店街を通り、セイコーマートの辺りまでの1・6キロにわたる。現在NPO法人ニセコまちづくりフォーラムが会員を中心に、町民の協力を得て植栽の整備を担当しているが常時閑散としている。観光地ニセコ町の玄関口にふさわしい名所と言えるか。抜本的改善を検討されてはいかがか。A 町長 「綺羅街道」

が完成し23年が経過した。植栽についてはNPO法人と相談し支援を行う。景観の保全、空き店舗の活用など、商工会と連携して活性化に取り組んでいきたい。Q 綺羅街道の目的は地域コミュニティの再生、地域産業界の連携強化を目指すところ。再現の可能性はある。A 町長 まちづくり基本条例の精神は「住民自ら考え行動する」という視点で、行政依存をなくそうとしてきている。これまで皆さん

が綺羅街道をどうにかしたいと頑張ってきたように、機運醸成が図られれば素晴らしいことで、町としても支援をしていきたい。

Q 町内の猫の多頭飼育崩壊はどこでも発生する可能性がある。今年3日間に渡り80頭の猫の手術を実施した。昨年は約30頭、一昨年は約50頭。この現状と町としての対策を伺う。A 町長 対応は社会福祉分野の職員や専門家などと連携が必要。防止策は町のホームページに連絡窓口を掲載し、周知・啓発に努める。Q 2021年からのニセコ町の猫の手術した頭数は120頭以上になる。町外も入れると220頭以上になる。



猫の不妊去勢手術に補助金を

斉藤 うめ子 議員



HPに相談の窓口を掲載する

多頭飼育崩壊になる前に、町ももう少し力を入れて増やさない対策が必要ではないか。猫の相談も増えてきている。ニセコ町が手術の補助金を検討して頂きたい。北海道で現在7市町村が補助金を出している。A 町民生活課長 猫の相談があった時は町民生活課に繋いでいたいただきたい。Q しっかり町民に伝えるような窓口が必要だ。環境衛生の問題から、酪農家や農家も衛生管理上野良猫の不妊

去勢手術を行う方が増えてきている。少しずつ動いてきているのは確かなので、ニセコ町がそのモデルになっただけでないか。A 町長 過去からずっと相談があれば対応してきた。町民の皆さんが分かりづらいということであれば、広報等を通じ「見える化」できるよう努力したい。

町内で実施した野良猫・保護猫・飼い猫の手術

		町内の猫	町外の猫	合計
第1回	2021年	30	—	30
第2回	2022年	18	28	46
第3回	2023年	14	17	31
第4回	2024年	20	60	80
合計頭数		82	105	187

上記の他、2024年3月町内の多頭飼育崩壊で約40頭の手術を実施しニセコ町内で合計122頭になりました。Mobile VET Office 資料提供



前原 孝植 議員

Q 地域通貨事業者選定理由と経営状況は

A 共感資本社会推進、赤字は開発費計上による



Q 町民、議会への十分な説明なしに、町負担で地域通貨事業者へ予算を組んだのか。また、この事業者を選定した理由について伺う。

A 町長 地域通貨は相互扶助の共感資本社会を推進するツールとして町政執行政策で取り組んでおり、昨年の町議会で提案したが、時期尚早との意見を受け、今年度予算に提案し可決。4月12日に議会で地域通貨の説明を行い、情報を共有した。事業者は町内企業で、先行して「è旅納税」を実施

施している。最終的には選考委員会で決定される。

Q 累積赤字2・1億円この事業者の選定基準や理由について詳しく伺う。

A 副町長 「è旅納税」は町内還元を目的に事業者を選定したが、地域通貨についても改めて指名選考委員会を開いて決定をさせていただきます。

A 町長 会社の評価は単年度の赤字や従業員数ではなく、社会貢献を重視する。地域の会社で利益を地域内に循環

環させる仕組みを構築している。

Q システム開発を外注、地域通貨発行に対しての責任、血税のばらまきや懸念があるか。

A 町長 最終的にこの会社が決まるかどうかは指名委員会で決定になる。非営利で地域社会貢献をしていき、血税のばらまきとは異なる。

Q 高校寄宿舍再整備の基本設計と進行状況は

前原 孝植 議員

A 順次進行中、検討と審議済

Q ニセコ高校寄宿舍再整備については基本設計が進められている現状で、既に実施設計に向けて動いているという事実はあるか。また、この急ぎ過ぎる進行について、十分な検討・検証がなされていると考えているか。

りまとめた。その後、令和4年に寮検討専門委員会を立ち上げ、6回の会議や2回の先進地視察、町民講座を開催し、新しい寮の在り方について広く意見を聞いた。また、令和4年7月にはニセコ高校魅力化検討委員会を立ち上げ、寮の検討を行った。

これら意見を基に、寮の他用途への転用も考慮しながら進めている。工事完了を令和8年3月までに行う必要があるため、迅速に進める必要がある。

Q 基本設計がまだ上がっていない状況で、実施設計の予算を本年度で計上することはお考えか。

A 総合教育課参事 基本設計は5月臨時会で補正され、現在進めている。工期は9月10日までを予定しており、実施設計の予算は9月定例会に補正予算を上げて審議いただく予定。



ニセコ高等学校

株式会社ニセコまち の土地売却の詳細は

前原 孝植 議員

Q

Q 株式会社ニセコまちが保有する土地をニセコミライ第一賃貸事業運営合同会社へ売却した区画、坪数、坪単価について伺う。

A

町に情報はない

で、情報が開示できないのはどういうことか。
A 町長 経営の内部情報は公表するものではない。行政機関として出資した会社も経営には基本的にタッチしない方針であり、内部の経営情報は公表しないことに問題はないと考えている。

Q ニセコみらいは町民が住める住宅を作るプロジェクトであり、町が出資しているため情報公開の義務があると考えるがいかがか。

A 町長 質問は売買の坪単価などであり、町



ではわからない。ニセコまち全体の経営のことは町民講座などで説明しているので参加をお願いしたい。

9000万円の寄附の経緯は

前原 孝植 議員

Q

SDGsの取組に共感

A

Q 一企業から9000万円の寄附がニセコ町にあったが、その経緯、違法性についてメディアに取り上げた際の対応を伺う。

A 町長 ニセコ町の脱炭素や長寿命建築などのSDGsの取組に共感していただき、自治創生総合戦略推進事業に合致するため寄附をいただいた。今後も他の企業の応援を得るために努力していく。寄附金の充当先はニセコ生活モデル地区構築事業。

で、内閣府地方創生推進事務局の確認とリーガルチェックの結果、問題はないと確認されている。寄附元がニセコまちの出資者であることも問題ない。

Q 内閣府事務局の回答が異なり、メディアに取り上げられると企業に大きな損害を与え

企業への注意喚起はあるか。
A 町長 法律的に問題がないため、注意喚起の必要はない。



NISEKO
Heart Labo



ニセコ町の企業版ふるさと納税についても記載されています



木下 裕三 議員

Q 安定した自主財源の確保を

A 収入増加に向け検討したい

Q 持続可能な財政運営のためには、安定した自主財源を確保することが重要。令和5年度の広告収入と行政視察の対応時に収入はあ

また、企業版ふるさと納税に関して、寄附していただいた企業に

対してのアフターフォローは。

A 企画環境課参事 オ

ンラインで有料視察受け入れをするという手法もある。

寄附していただいた企業にはお礼を含めて感謝状の贈呈と挨拶回りを行っており、事業実績のレポートを含めて継続寄附につながるような取組みを進める。

A 町長 広告収入に関しては様々な媒体があるので担当課でも相談



し、また当町に泊まらない視察団体には視察料を取ることも検討したい。企業版ふるさと納税のアフターフォローは、継続寄付のためには重要だと痛感したので、今後も継続するよう努力したい。



大野 幹哉 議員

Q 通学路他注意看板について

A 現地調査や協議していく

Q 町道羊蹄連絡、真狩旧道線の「通学路につき徐行をお願いします」の注意看板は冬場取り外されるが、春の設置作業が大変であ

A 町長 平成19年に現行速度規制が実施されているが、今までの経緯も踏まえ警察等、関係機関と協議し要望していく。

Q 冬場に取り外し、注意看板が無い状態も問題視されるが、街灯の支柱を利用するなど、しっかりとした看板を検討できないか。

A 町長 しっかりとした看板も十分検討してい

いき、全ての関係者で協議していく。

Q 羊蹄連絡線は通行規制ができないとの事だが、近隣の喜茂別

は大型貨物車の規制があるので関係機関と協議できないか伺う。

A 町長 再度確認しながら検討していく。

Q 近年ニセコ、ヒラフのスノーエリアからルスツへ流れる傾向が見られ、外国人が非常に多いので、英語表記の看板や黄色の実線、速度取締まりの検討が

できないか伺う。

A 町長 追越し禁止の対策や速度取締まりを含め、警察へパトロー

ル強化を依頼していく。





高木 直良 議員

Q 観光客動向変化への対応は

A 正しい情報発信等に取り組む

Q 直近のニセコ町への日本人観光客入込込み状況の変化やその要因をどうみるか。「ニセコの物価が高過ぎる、ラーメン一杯3千円」など繰返し報道された。A町長 一部の宿泊施設稼働率が昨年より落ちている。GOTOキャンペーン終了によるリバウンド、物価上昇が考えられる。

Q SNSや報道でニセコ地域での物価高の情報が多く流れていることには、町として正しい情報発信が必要と考える準備している。

Q JTBの今年の見通しは対前年度比97%とある。家計の厳しさ、バス運転手不足、気候変動によるシーズン縮小や雪質の変化が想定されるがどう見るか。A町長 旅行費を捻出しにくい家計状況だ。運転士不足対策はライドシェアを検討中。ニセコの雪の変化を国立防災科学研究所に調査をお願いしている。

Q 持続的な観光政策では農業との関係は重要。また、地域資源としての有島灌漑溝などの歴史遺産、フットパスやニセコトレイルも活かすべきだ。A町長 長年の課題であるが、農家が直接、野菜類を売り込み、大きなホテルはほぼ全量ニセコ米や蘭越米を使い、近隣町村の農産物を使っている。

有島の親子の坂や灌漑溝、森の中の活動、フットパス、ニセコロングトレイルなど多様な資源が生かされるよう進めていきたい。

Q 町民の足としてのニコトバスの「観光にも利用できる」の宣伝は控えるべきではないか。A町長 利便性向上に向けAー機能や増車を検討中。



Q 多様な大学への進学、まちづくりと連動したニセコらしい学び、グローバル化への対応などの教育課程を拡充するために教職員の確保と、定着が極めて重要だがその見通しを問う。

A教育長 ニセコ高校が全日制に移行し、特色ある教育を展開し、生徒が活躍していくことにより、生徒はもとより教職員にも選ばれる方向にしていける必要があると考える。

Q 教員は現在の11名から19名の予定だが、今後大学受験に対応し、環境エネルギー科学・環境生命科学など総合学科の選択が33科目などかなり多様なカリキュラム想定だ。19人の教員で本当に対応できるのか。

A教育長 ニセコ町内近隣町村等も含め専門的な知識を備えている方が多くいらつしやるので、国・道で配置する定数以外に特別非常勤講師を積極的に採用し、時間講師として特色ある科目等に協力いただく取組を進めていきたい。

Q 「学校経営方針」や新しい学校の教育課程にも「DX」、国際性英語力を高める「起

業家教育」が強調されている。今日重視すべきは主権者教育とと思うが教育長の所見は。

A教育長 主権者教育については、公共という授業の中で自立した主体として、よりよい社会の形成に参画することに向け政治参加や議論に参加し、意見の対立や利害調整による合意形成を行うことを学習している。

Q 公民は2年生の週2時間だが、時間数を増やすとか生徒同士の討論など力いれるべき。

A教育長 総合的な学習や学校行事等に対応

Q ニセコ高校の教職員確保と持続が重要では

高木 直良 議員

A 特別非常勤講師も活用したい



学校説明会のようす

新街区への住替えは可能か

高木 直良 議員

C棟、賃貸棟への支援を行う

Q 事業目的の柱に、住宅不足や町民の住替えニーズ対応がある。建設資材や人件費の急激な高騰によって、この目的達成が危惧されるがどう対応するか。

A 町長 住宅建築価格の低減に向けた研究開発を町から補助金を支出し支援を行っている。遮音構造対策費、外壁の市販品の活用、業務用エコキュート、マルチエアコン、新換気システム、太陽光発電と蓄電池の購入、エネルギーマネージメントシステムの導入費に係る支援を行う。

A 副町長 基本的には今後行う賃貸において町内の方が入れられ、空いた住宅をリノベーションして家族の方が入っていたかどうかという形の循環を目標とする。

Q 太陽光パネルが街区で採用されるが、今後町内の事業所や一般住宅への普及、促進の計画はあるか。

A 町長 環境省の地域脱炭素推進交付金、重点対策加速化事業が採択されたので、令和11年度までの6年間で一般住宅や事業者事務所や店舗などへの太陽光発電設備の設置費用支



建設中の住宅

援を行っていく。

Q この事業の課題の一つに地域経済循環がある。地域経済への貢献の現状と今後のあり方について伺う。

A 町長 高気密高断熱や省エネの脱炭素型を住宅建築を町内事業者が請け負うことで域外に流れ出ていた資金が域内にとどまり、マネジメントシステムなどの活用によって目に見える域内循環が図られている。英知を結集し、将来に向けての可能性を町民にしっかり伝達していきたい。

議会日誌（一部抜粋）

5月

24日 羊蹄山麓町村長会 正副議長
会合同勉強会

(真狩村／副議長出席)

27日 あそぶつくの会通常総会
(小松委員長出席)

29日 後志総合開発期成会後志要望
(小樽市ほか／議長出席)

31日 後志総合開発期成会道要望
(札幌市／議長出席)

6月

7日 後志総合開発期成会 中央要望
(東京都／議長出席)

10日 議会運営委員会
全員協議会

11日 北海道町村議会議長会定期総
会・研修会ほか
(札幌市／正副議長出席)

19日 議会運営委員会
産業建設常任委員会
全員協議会

25日 第4回定例会
俱知安駐屯地創立69周年記念
式典
(俱知安町／議長出席)

30日

7月

2日 北海道町村議会議員研修
(札幌市／議員全員参加)

3日 議員道内視察研修
(北海道議会ほか)

8日 議会議員研修
(滋賀県／高木議員)

9日 羊蹄山麓町村議会委員長
視察研修
(兵庫県／委員長全員参加)

16日 後志町村議会議員研修・懇談
会
(留寿都村／全員参加)

19日 総務所管事務調査
学校訪問

23日 議員視察研修
(岐阜県／9名参加)

30日 総務所管事務調査



村田道議と懇談し、要望も伝えました

第4回定例会

行政報告

(一部抜粋)

経済同友会通常総会に出席

ニセコのお価は高い

公益社団法人経済同友会
2024年通常総会に御招待
いただき出席いたしました。

この中で多くの方から、「ニ

セコは物価が高い、食事もす
ごく高いとテレビの報道があ
る。土地も高くて日本人が行
くところではない」と言うよ
うなお話を聞きました。環境
モデル都市、SDGs未来都
市としてのニセコ町のまちづ
くりの現状など、正確な情報
をご説明してきたところです。

KIUアカデミーニセコ校の
建設

学校法人京都インターナ
ショナルユニバーシティが2
025年4月、ニセコ町の元
町にKIUアカデミーニセコ
校を開校する予定です。

この学校は、国際評価団
体から認可を得ている京都校
の教育モデルを用いて、国際
教育を提供することで進めて
います。対象学年は初等部が

1年から5年、中部部が6年
から8年、高等部が9年から
10年で、一人一人の成長に応
じた段階型の教育を実践する
学校です。

デジタルアメダスアプリ

精度の高い気象情報

デジタルアメダスアプリ
の完成披露会に出席してきま
した。気象庁が細かなメッシ
ュ単位、例えばニセコでした
ら近藤地区のこの一番の場所
は、線状降水帯を含めて雨が
このくらい降るのではないか
とか、そういった気象予報の
アプリを日本の中で北海道が
先行して作り上げたというこ
とでの発表会でした。



精度が高いことから、特に
農業の方や観光面でアウトド
アをされる方にとっては、こ
のアメダスアプリは相当有効

なものではないかということ
です。町としてもこれからP
Rを進めていきたいと考えて
います。

町税収入が過去最高

令和5年度の町税収入は、
本町で初めて10億円を超える
税収となりました。

個人所得の増加に伴う町
民税の増収と、全般的に伸
びているというような状況
で、町税の収納率も税務担当
職員の懸命なる努力によって、
99・5%を超える高い収納率
を達成しているところです。
今後も税の適正な徴収に努め
ていきたいと考えています。

北海道の宿泊税検討案
に対する意見書の提出

北海道が導入を検討して
いる宿泊税の対応について、
北海道が意見募集をしたもの
に対して、ニセコ町として意
見書をまとめて提出させてい
ただきました。(町のホーム
ページに掲載)

また、これまで開催された
北海道の説明会は通告であつ
て、町の意見を聞いていただ
ける状況でないことから、町
村や道民の意見にも配慮して
いただきたいという要請をし
てきました。



北海道への意見は
こちらから
ご覧いただけます

10月1日からし尿処理料金が
改定される予定

羊蹄山麓環境衛生組合関
係町村長会議が、5月20日開
催されました。この中でし尿
の処理手数料について、現行
10円当たり94円を126円に
改正する予定となりました。
事業者の皆さんが物価の高
騰で経営も大変厳しいことか
ら、10月1日から料金を改定
するという予定で、羊蹄山麓
環境衛生組合議会に諮るとい
うことになりました。

ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」
が過去最高の入館

オープン時、入館者目標
を12万人と定めてこれまで事
業運営してきましたが、目標
を大きく上回る15万5千人と
いう入館者となりました。経
営陣やスタッフの皆さんの御
尽力とご利用している方々に
感謝を申し上げます。



【教育行政報告より】
学校給食の減免の状況

今年度から第2子以降の
学校給食費の免除を実施して
います。免除決定児童生徒数
が173人で、免除合計金額
は前年度166万円に対し、
今年度は893万円となりま
した。

視察研修へ行ってきました

羊蹄山麓町村議会 委員長視察研修

研修先 兵庫県神河町議会（議会改革）

神戸市 人と防災未来センター（防災）

参加者 木下議員・小松議員・榊原議員



ね議員個々の資質向上のため、神戸国際大学との連携・常任委員会による政策提言・先進地への視察などを実施している。一人2つの常任委員会に所属し、決算審査後1年サイクルで委員会・全員協議会で議員討議を行い、町に政策提言をする体制を構築している。二セコ町も令和4年の町議選は無投票で終わったので、これを参考にしたい。

神河町では令和4年の任期満了に伴う町議選で、立候補者が定数に満たず無投票となった。定数割れは18年ぶりで、過疎地域での議員のなり手不足に危機感を持ち、危機感を抱いたことが議会改革に取り組んだ経緯だ。

議会力を高め議会の存在意義を示し、議員間討議を重

二セコ町議会 道外視察研修

研修先 岐阜県高山市 飛騨信用組合（電子地域通貨さるぼほ）

岐阜県飛騨市 ㈱飛騨の森でクマは踊る（森林資源の活用と森づくり）

参加者 議員9名、職員3名、商工会指導員1名



さるぼほコインは飛騨信用組合（ひだしん）という金融機関が運営しており、収支を

確保も必要だ。

二セコ町での導入検討にあたっては、上記事項を徹底的に分析しクリアしなければならぬ。町民や事業者の理解と協力も不可欠だ。アンケートなどでニーズや懸念点を把握すべき。

「㈱飛騨の森でクマは踊る」は飛騨市の第3セクターだが、行政からは出資金のみで「お金を出さない代わりに口も出さない」確約を得て、地元企業の協力を得ながら運営している。

飛騨地方には木製品としては利用しにくい「広葉樹」が多い。独自の発想で試行錯誤しながら、それに付加価値をつけて商品にし、持続可能なビジネスとしている。設立

から10年経ったいま、年商1億2千万円をあげている。二セコの「雪森考舎」も、二セコ町の豊かな自然環境を有効利用し、地域住民の理解と協力を得ながらの経営は、きつと観光や地域経済の活性化につながるのではないか。



▶ショールームを兼ねた事務所柱や床は様々な種類の広葉樹の木材が使用されている

未来のニセコを拓く会

猫と人の幸せな共生をめざして～「未来のニセコを拓く会」では熱心なボランティアに支えられて、猫の不妊去勢手術の活動をしています。

不妊去勢手術をしないと猫がどんどん増えてしまい、殺処分や交通事故死など様々な問題を招いてしまいます。そうした不幸な猫を1頭でも減らすため、2021年から江別にある犬猫不妊去勢手術専門病院Mobile VET Officeの大門先生にニセコ町に出張していただき、毎年手術を実施しています。

全国で年間約10万頭の猫が殺処分されており、その7割は子猫なのです。猫は野生動物ではありません。5千年以上前からネズミ退治を目的に人と暮らすように変えた動物です。人が責任をもって世話と管理をしないといけない動物なのです。不幸な猫を1頭でも救うためにみなさんのご理解とご協力が必要です。まだまだボランティアが足りないので、たくさんのボランティアを募集しています！

猫を救う「保護ネコ募金」にぜひご協力をお願い致します。毎月「猫ミーティング」を開いて情報共有・意見交換を行っていますので参加をお待ちしています。



▶かわいらしいイラストの移動手術車

▼キャリーボックスで手術を待つ猫たち



▼ほっと一息



模擬店や町内企業出店のおいしい食べ物、飲み物は人気のまゝと。盛り上がるのは生徒有志のバンド演奏やのど自慢。

表紙写真は男子が女装して待機中に、舞台の出演者にエールを送ってる様子。はじけるような笑顔は青春真っ盛り。いい思い出になるでしょう。

7月20日は生徒たちの一大イベント、ニセコ高校学校祭です。前日19日には昨年に引き続き前夜祭の花火大会も行い、気分を盛り上げました。「開かれたニセコ高校に」と学校祭は町民にも参加が呼びかけられ、多くの家族や親戚、一般町民もかけつけました。

表紙紹介

編集後記

暑さが和らぎ、秋の気配が感じられる9月となりました。今年の夏も例年と同様に暑く、草木の成長も穏やかでした。田んぼの稲は順調に実り、畑の野菜も収穫を迎えています。

皆さんのご協力で地域のイベントやお祭りが賑わい、多くの人々が笑顔で集う姿が見られるようになりました。引き続き健康に留意しながら、実りの秋を楽しんでいただければと思います。

議会HPIは
こちらから
ご覧になれます



議会だより編集委員

委員長 高木 直良
副委員長 前原 孝植
委員 齊藤 裕三
委員 木下 裕三